

令和4年度第1回習志野市青少年センター運営協議会会議録

1 開催日時 令和4年5月13日(金)午後2時30分～午後3時30分

2 開催場所 習志野市役所2階2-1・2会議室

3 出席者

【会長】 習談会 会長 五十嵐 久仁

【副会長】 習志野八千代地区保護司会習志野支部 副支部長 高橋 君枝

【委員】 こども部子育て支援課 課長 奥井 菜摘子
学校教育部副参事(指導課 課長) 本間 美奈子
習志野市立習志野高等学校 教頭 柳浦 茂行
習志野市立秋津小学校 校長 加藤 努
習志野警察署生活安全課 課長 鈴木 愛彦
青少年補導委員連絡協議会 会長 松濱 幸子
民生委員・児童委員協議会 副会長 岡 久郎

【事務局】 教育委員会 教育長 小熊 隆
生涯学習部 部長 片岡 利江
生涯学習部 次長 上原 香
生涯学習部青少年センター 所長 渡邊 邦彦
生涯学習部青少年センター 主査 萩原 明宜
生涯学習部青少年センター 青少年補導相談員 藤木 義久

【傍聴者】 なし

4 会議次第

I 委嘱状交付式

- 第1 開会
- 第2 委嘱状交付
- 第3 委員紹介
- 第4 事務局職員紹介
- 第5 閉会

II 令和4年度第1回習志野市青少年センター運営協議会

- 第1 開会
- 第2 教育長挨拶
- 第3 会長・副会長選出
- 第4 会議録の作成等及び会議録署名委員の指名

第5 報告

- ・令和4年度習志野市青少年センター活動概要及び事業計画について

第6 その他

- ・第2回習志野市青少年センター運営協議会開催予定について

第7 閉会

5 会議資料 令和4年度第1回習志野市青少年センター運営協議会に関する資料

6 議事内容

○第1 開会

○第2 教育長挨拶

○第3 会長・副会長選出

委員の指名推薦により会長に五十嵐久仁委員、副会長は会長一任との意見により、高橋君枝委員が副会長に決定した。

○第4 会議録の作成等及び会議録署名委員の指名

会議録の作成は発言委員名を入れた要点筆記とし、ホームページで公表することを決定。
会議録署名委員は会長より、加藤努委員と松濱幸子委員を指名し、決定した。

○第5 報告

- ・令和4年度習志野市青少年センター活動概要及び事業計画について

【青少年センター渡邊所長】 令和4年度青少年センターの事業概要について説明する。

青少年センターは、地域社会・関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成及び非行防止を図ることを目的としている。

当センターの業務内容は、「補導活動」「補導相談」「青少年健全育成活動」「環境浄化活動」「会議・研修」の5つである。

それぞれの活動の内容及び計画について説明する。

一般補導は午前、午後、夜間にそれぞれ1時間から1時間30分程度で実施する。

「街頭補導」は、当センター職員が4～5名の青少年補導委員と一緒に、主に午後の児童・生徒の下校時間帯(15時から16時)に行く。これは、週に2回程度計画し、実施している。

さらに、毎月2回、夜間の時間帯(19時から20時)にも行う。

自主パトロールは、当センター職員のみで行う。学期始めの登校時や習教研等の下校時刻が早いとき、感染症による臨時休業があるとき、学校行事や気象状況、不審者情報等を考慮しながら行っていく。

学区一斉補導は、中学校区を単位として行う。今年度は7月29日の県下一斉パトロールを皮切りに11月2日、2月22日を予定している。

特別補導は主に夏休み、年末・年始に行う補導活動である。

次に事業内容の2つ目「補導相談活動」について説明する。

当センターでは、青少年の補導に関する相談に応じ適切な助言・指導を行うとともに、補導活動が円滑に進むように努める。今年度は今のところ中学生本人・保護者から2件の相談を受けている。

3つ目の「青少年健全育成活動」では、主に、習志野市補導委員連絡協議会、中学校区青少年健全育成連絡協議会、習志野市PTA連絡協議会、子どもを守る地域ネットワーク実務者会議、秋津小学校運営協議会、習志野市少年野球連盟での活動をする。

青少年補導委員連絡協議会による「少年の日」ポスター展を1月15日～21日まで市庁舎1階展示スペース及びグランドフロア協働スペースで行う予定である。

「少年の日」ポスター展と同じ期間、同じ場所で中学校区青少年健全育成連絡協議会代表者会主催の「青少年健全育成標語コンクール」を行う。

スポーツを通しての青少年の健全育成では、地域における児童の集団活動及び異年齢交流を育成するために少年野球大会の事務局として、市教委と少年野球連盟との共催行事の春季大会・夏季大会・新入大会に協力している。

次に「子ども110番の家」について説明する。子どもたちの登下校の時間帯を含め、犯罪被害を未然に防ぐための抑止力と緊急回避場所として協力を依頼している。

平成27年度より看板を更新して習志野市のマスコットキャラナラシドを加えた。

今年度も4月当初から不審者情報が多く寄せられている。今後も子どもたちの安全安心のため、協力いただける家庭や商店等の拡大に努める。

また、依頼だけではなくアフターケアにも力を入れていきたい。

次に「環境浄化活動」について説明する。

補導委員による街頭補導、青少年健全育成連絡協議会によるパトロール及び環境浄化活動の報告、当センター職員による自主パトロール等で得た情報、例えば自転車の乗り方や公園の状況等を関係機関へ連絡し、環境浄化に努める。

最後に「会議及び研修」について説明する。

学校・警察連絡協議会では、児童生徒の非行防止及び健全育成を推進するため、学校と警察が連絡を密にし、共通の方向性を持つことを目的として年1回実施する。今年度の予定は7月6日である。

本日開催している青少年センター運営協議会を年2回開催し、青少年関係機関・団体の職員及び代表者の委員の方々から青少年センターの業務内容がより総合的・計画的に実践できるよう協議及び助言をいただく。

青少年補導委員委嘱、総会、研修会では、補導委員の心構えや補導の仕方について研修する他、関係施設等を視察研修し、補導委員の資質向上を図る。

青少年センター連絡会では、各中学校区より3名ずつ21名の連絡員で構成し、市内外の青少年の動向、街頭補導の状況について報告・協議し、補導活動の組織的・計画的な推進を図る。

中学校区青少年健全育成連絡協議会代表者会は、各青連協の代表者等による会議で、各地域の活動交流や研修等により地域活動を効果的に推進するため、年3回実施する。

また、生徒指導担当者会議・葛南地域生徒指導行政担当者会議に参加し、市内および葛南地区5市と情報交換・協議し、生徒指導の充実を目指す。

今年度、特に力を入れる事業が2つある。一つ目は「子ども110番の家」の拡充である。

令和3年度末現在946軒の協力数である。協力者の高齢化や環境の変化により毎年減少していたが、昨年度は69軒増えた。令和4年現在では950軒である。今後も各学校や地域の会議等に積極的に参加し、PRに努める。

今年度は積極的にプレートの交換を行い、その際には実際に顔を合わせ改めてお願いと御挨拶を行う。昨日も20軒ほどの場所を確認し、2軒のプレートを交換した。

2つ目はインターネットの適正利用事業である。

青少年を取り巻く社会環境は、人間関係の希薄化や家庭の教育力の低下に加え、情報化社会が一層煩雑化を極めている。このような状況の中、青少年の非行や問題行動、事件に巻き込まれる事例が年々低年齢化かつ深刻化している傾向にある。

この未然防止のために今年度は県・市インターネット適正利用啓発学習会講師派遣事業を最重要事業と考えている。

昨年度の情報モラル教育の実態としては、小・中学校23校中10校の実施にとどまっている。また、市の適正利用学習会の派遣は小学校で3校にとどまっている。今年度は現在小学校4校で実施予定である。

また、ネットトラブルの未然防止に向けて、各小・中学校に協力をいただき、「情報端末及びインターネットによるトラブル調査」を行い、結果を各学校へ伝えることで学校での生徒指導資料、教職員研修等の一助とした。

▶質疑等

【高橋副会長】 さきほど、教育相談の件数について報告があったが、内容的にはどんな内容か。

【青少年センター藤木相談員】 昨年度の相談件数は10件であり、該当生徒の保護者への支援が多い。保護者を支えることで該当生徒の安定に繋がると考えている。他に、他市からの相談であるが、隣で妹が暴れているがどうしたら良いかという内容の相談もあった。困っている方は混乱した中で相談してくる場合もあることが分かる。また、同じ相談者から複数回受けることもあり、延10件になっている。

【加藤委員】 ゲームセンターもパトロールの対象としていると思うが、最近の子どもたちの傾向をお聞きしたい。

【青少年センター渡邊所長】 自主パトロールを毎日行っている。午前は私と相談員、午後は主査と相談員で対応し複数の目で行っている。イオン店内など市内にあるゲームコーナー、ゲームセンターと併せて(習志野市に近い)近隣市にある店舗も見廻る。今年度に入って同じ場所を4回ほど見廻ったが、その中に特に大きな問題はなく、中・高校生の出入りもほとんど見ない。一度、平日の昼間に高校生らしき少年を見かけ声をかけたところ、サポート校の新生交流会の学校行事であった。

【五十嵐会長】 「子ども110番の家」について、青少年センターとして現在950軒、目標

が1,200軒とのことだが、従来の依頼方法だと一戸建て中心で、マンション等の世帯への協力依頼はなかなか難しく、せいぜいマンションの管理室など協力依頼できる環境は限られている。コンビニエンスストアやイオンなどのスーパーマーケットなど他団体が進めている「子ども110番」事業との連携の強化を図ると効果が上がると思う。意見として聞いておいていただきたい。

【青少年センター渡邊所長】ありがとうございます。連携を進めていきたい。

【松濱委員】今の話に関連し、コンビニエンスストア等は今までも「青少年健全育成協力店」として協力していたと思う。

【青少年センター渡邊所長】「青少年健全育成協力店」は、今でも「子ども110番の家」に引き継がれ緊急回避の駆け込み場所として活動してくれている。今後も市内店舗へ習志野市の活動のPRを含め依頼を行っていく。

○第6 その他

・令和4年度第2回習志野市青少年センター運営協議会開催予定について

【青少年センター萩原主査】次回の第2回習志野市青少年センター運営協議会の開催日は、令和5年2月13日(月)15時から市役所5階3会議室にて予定している。

○第7 閉会